

失敗しないブーツ選び

スキーの運動の中で体の動きをスキーに伝えるブーツが最も重要なアイテムです。この選択を間違えるとスキーそのものが上達できず楽しめません。そこで特にこれからテレマークを始める方はアルペンスキーの経験有る無しに拘わらずブーツ選びが最重要課題です。

裏磐梯テレマークスキー塾では「軽快で疲れの少ないテレマークスキー」を目標として講習を行い、山へ出かけています。

滑りだけに特化することなく野山を軽快に登ったり、歩いたり、降りたりできることがバックカントリーの楽しみ、醍醐味と感じています。決して細板、革靴狂信論者集団ではありません。しかし、ハイカットで足首の硬いブーツでは曲げ伸ばしも自由にならないばかりか重量も重くて歩きや登りには不向きです。テレマーク本来の自由度が奪われてしまいます。また、百歩譲って滑りだけを抜き出しても競技用やNTN仕様のブーツではテレマークの運動の本質を理解することはできません。「よりアルペンに近い滑りができるから」などと唱っていること自体、論外です。

ここ数年のブーツのアルペン化？は劇的で山スキー用のものより既に重くなってきています。その中でも11~12シーズンで一般に購入できるお奨めのブーツを紹介します。

お奨めポイント

プラスチックシェルなのですが足首の自由度が高く軽い。よって疲れにくい。

革靴よりサイド方向へのねじれが少ないのでエッジホールドもよい。

プラスチックシェルなので手入れが簡単だし暖かい。

何しろ値段が手頃。

スカルパT4

製品情報 Products



Backcountry



バックカントリー
アルパインツリーリング/テレマーク



● サイズ表

T4

[SC24120] ¥33,600

レザーブーツに近い感覚でロングツリーリングも楽しめるプラスチックブーツ。低めのカットと2バックル構造により足首に高い自由度があり、細板との組み合わせも良好です。

- ・フレキシブルな2バックル構造
- ・スキー/ウォークモード切替レバー(前傾角度16°)

材質 シェル/カフ/タンゴ=ベ/バックス
インナー=インスタントフィット
ソール=プリント・スカルパ/ビブラム

機能 2バックル
スキー/ウォーク切り替えレバー(前傾角度16°)

重量 2,980g(27cm、1ペア)

サイズ 25.0~31.0cm(0.5cm刻み)

ガルモント エクスカーション



GARMONT Telemark

EXCURSION
エクスカーション

様々なシチュエーションでテレマークターゲ
ンが可能な新世代ライトウエイトエ
ッジアップ用ブーツ。軽量で保温
性に優れたインナーを装備しているた
めハイシーズンから春先のロングツア
ーまで対応。テレマークの自由さと機
動力の素晴らしさを実感できます。

¥39,900 (本体 ¥38,000)
MEN/1100313
サイズ: 26.0 ~ 30.5cm (0.5cm刻み)
1100318
サイズ: 30.5cm
重量: 1,400g (27.5cm)

WMN/1100314
¥39,900 (本体 ¥38,000)
サイズ: 23.0 ~ 26.5cm (0.5cm刻み)
重量: 1,090g (24.5cm)

ソール: Pebax
インナー: ハットロック ECO
カラー: ブラック/シルバー

テレマーククラシック **Telemark Classic**

付録

スキーやビンディング

スキーとブーツの相性というのもあります。やはり軽快さ取り扱いやすさ、学習の向上性から上記のようなタイプのブーツに合うスキー選びをしましょう。

極端に幅の広いスキーは運動の伝達が難しく暴走の一因にもなります。パウダーなら太い方が有利と考えている風潮がありますが疑問です。パウダーでも沈むことなく表面をグレンデと同じように滑れるので楽かもしれませんがパウダーをかぶることもなくちっとも面白くありません。楽しくありません。何もXCの様な細板を強要している訳ではありません。センター80mmぐらいまでならパウダーを浴びながら縦方向にターンしていく楽しさを体験できます。いわゆる潜ったり浮上したりの3D滑りができるんです！また、DVDの様な無木立の大斜面はそうたくさんはなく東北などブナのツリーランを楽しむ機会が多いのです。

また、板の幅が広ければその分重くなりシールも当然かさばります。片手で持てないテレスキーなんてありません。

山スキーや1時代前のサイドカーブのきつすぎないアルペンの平板も選択肢だと思います。

ビンディングも最近では重量化の一途をたどっていますが疲れるばかりです。また、山で壊れたら直せないことも多く大変下山に難儀します。シンプルな3ピンビンディングは軽いし、壊れることなく、安価です。テレマークの本質滑りを習得していただければプラスチックブーツで履いても全く問題ありません。

あくまでも楽しみ方は個人差ありますから強要はしません。塾の考え方です。